

C-1 指導案

福祉科学習指導案

石川県立田鶴浜高等学校 教諭

指導日時・教室 平成16年11月5日(金) 3・4限目 教室名 福祉実習室
対象生徒・集団 健康福祉科 1年生 20人(内訳11H20人)
科目名 「基礎介護」(単位数 4)
使用教科書 「基礎介護」(中央法規)

1 単元名 高齢者の介護(衣服着脱の援助)

2 単元の目標

- ・ 高齢になることにより生ずる生活上の変化や、その支援のあり方について関心をもち、意欲を持って学習に取り組む。 【関心・意欲・態度】
- ・ 介護実習を通して、日常生活の援助としての基本的な介護の知識と技術を習得させ、介護技術を総合的に活用することの必要性を理解する。 【知識・理解】【技能・表現】
- ・ 高齢者の特性を理解し、生きがいに満ちた心豊かな生活ができるように援助する方法を具体的に考える。 【思考・判断】

3 指導にあたって

(1) 生徒の状況

本校の健康福祉科は高校卒業後、介護の仕事に就くことを目指している生徒が大多数を占めている。そのため目的意識が高く、特に福祉科の科目については真摯に取り組んでいる。11Hは入学当初、授業への興味・関心、理解に関して不安な面も見られたが、半年以上が経過し、学校の雰囲気にも慣れ、多くの生徒が夏休みに施設でのボランティアを体験したこともあり、介護に関する興味が深まったように感じる。

(2) 指導方針・方法

高齢者介護の基本は利用者の自立を支援することにある。そのためには、援助を必要としている高齢者に対して、できる部分は何なのか、どのように補助すれば行動範囲が広がるだろうか、といったことを常に考慮する必要がある。利用者役・介護者役の双方を体験しながら実技を身につけていくことで一方通行にならない介護の方法を考えさせたい。そして、生徒の福祉を志す気持ちを大切にしながら、介護従事者として基盤となる介護の意義と役割を理解させ、高齢者に対して多様な自立生活を保障していくための基礎的な知識及び技術を習得させたい。

また、今後は「個に応じた介護」が一層求められる。基本的な介護の知識と技術を習得させることにとどまらず、様々な介護場面での工夫や福祉機器等も紹介し、高齢者の特性や、長年育んできた生活習慣に寄り添った介護を生徒一人ひとりが創意工夫しながら導き出していけるように、問題提起をしながら授業を進めていきたい。

(3) 教材選定の理由

介護実技では手順を身につけていくことが重要であるが、手順をそのまま詰め込むのではなく、そのように行う理由も考えさせることで、利用者の状態にあった介護の工夫ができるようになると思われる。

また、生徒は次年度に現場での社会福祉実習を控えているので、発表する機会や意見をまとめる機会を多く持たせ、自分の考えを表現する能力も養いたい。

4 単元の指導計画(総時数 14時間)

- 第1次 衣服の種類と選択(2時間)
- 第2次 着脱の意義と手順(2時間)
- 第3次 着脱の実際(4時間)
 - 1～2時 片麻痺の高齢者の着脱介護・・・本時
 - 3～4時 寝たきり高齢者の着脱介護
- 第4次 着脱介助のまとめ

5 本時の学習（第3次 第1, 2時）

(1) 本時のねらい

- ① 着脱介護の基本である着患脱健や残存機能の活用といった原則を導き出すことができる。

【思考・判断】

- ② 高齢者の特性に配慮した衣服着脱の介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、介護の意義や役割を理解している。

【知識・理解】

(2) 準備・資料等 前あきパジャマ、かぶりのパジャマ、学習プリント、短冊、評価表

(3) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 (観点・評価方法)
10 導入	1 学習内容の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの学習内容を振り返る。 ・本時の学習の流れを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの学習内容を、生徒に質問しながら確認する。 	
75 展 開	片まひの高齢者の着脱介助の方法を考えよう！			
	2 着脱介護の方法を導く	<p>(グループ活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者役と介護者役を2人ずつ決め、片まひの高齢者を想定した着脱介護を行ってみる。 ・介護の手順と留意点を学習プリントにまとめる。 ・グループで見つけ出した原則を短冊に記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのベッドを周りながら、高齢者の特性に配慮した方法を見つけ出せるよう、指導する。 ・安全・安楽な着脱介護を目指し、声掛け等にも留意するよう告げる。 ・発表する際の役割分担を決めさせる。 	<p>体験を行いながら、手順や留意点を考え、着脱介護の基本的な原則を導き出すことができる。</p> <p>【思考・判断】 (学習プリント)</p>
	3 着脱介護の方法と原則を発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループの短冊を黒板に貼り、発表する。 ・利用者役と介護者役を決め、全員の前で実演し、発表する。 ・それぞれの発表の良かった点など感想を出し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短冊を黒板に貼らせる。 着患脱健・残存能力の活用・リハビリとして役立てる・衣服を選んでもらう・温かな声掛け等 ・利用者役は高齢者の特性を考え、役になりきるように促す。 ・他の班のロールプレイを見て、良かった点を挙げさせる。 	
	高齢者の着脱介護をおこなう際のポイントは何かな？			
	4 着脱介護の原則を確認する	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのグループの短冊を黒板に張り、同じ内容をまとめていく。 ・全員が納得できるものを着脱介助の原則として決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に短冊を貼らせる。 ・同じ内容だと思われるものを生徒に確認しながらまとめていく。 ・着患脱健・残存能力の活用など、福祉の用語を確認する。 	<p>高齢者の特性に配慮した着脱介護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、介護の意義や役割を理解している。</p> <p>【知識・理解】 (学習プリント)</p>
15 ま と め	5 学習のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントを記入する。 ・グループ内での評価、自己評価を行う。 ・次回の授業の流れを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の学習内容を伝える。 	

